

中古住宅価値「築20年>築10年?!」の新しい考え方

業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）を提供している“不動産の達人 株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／代表：大西倫加）。この度は、**同社創業者で、不動産コンサルタントの長嶋修がマスコミ関係者限定のミニ勉強会・情報交換会『賛否両論』を主催することとなりました。7月30日（火）開催、第2回目のテーマは「中古住宅に価値をつける方法」です。**ご興味ある方は是非ご参加ください。

これまで20年～25年で価値ゼロとされてきた日本の中古住宅について、現在、国が抜本的に評価方法の見直しを検討しています。実現すれば、中古住宅・リフォームなどのストック市場の大改革となると同時に、我が国の内需経済も大きく変容します。しかしながら、これまでの取り組みはさしたる成果をあげられていないもの事実。

国はいま中古住宅に価値をつけるためにどのようなことを検討しているのか。実際にどうすれば価値がつくのか。また、価値のつく住宅を見分けるためにはどうしたら良いのか。など、中古住宅流通市場に精通する不動産コンサルタント長嶋が詳しく、わかりやすくお話しします。



**7/30(火)
開催**

マスコミ関係者限定 勉強会『賛否両論』 「中古住宅に価値をつける方法」

【講師】 さくら事務所会長 不動産コンサルタント 長嶋 修（ながしま おさむ）

【時間】 12:00～13:30

【定員】 8名 【参加費】 無料（※軽食・お茶つき）

【場所】 さくら事務所東京本社 会議室 各線 渋谷駅 徒歩7分
（桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101）

【内容】 一部抜粋

- 国の政策転換 ～中古住宅の評価方法を見直し～
- 今、住んでいる住宅に価値をつけるにはどうしたら良いか？
- 価値がつく住宅の見分け方とは？



前回セミナーの様子

■不動産コンサルタント 長嶋 修■ <http://nagashima.in/>

不動産デベロッパーで支店長として幅広く不動産売買業務全般を経験後、1999年に業界初の個人向け不動産コンサルティング会社である、不動産の達人 株式会社さくら事務所を設立、現会長。以降、様々な活動を通して“第三者性を堅持した個人向け不動産コンサルタント”第一人者としての地位を築いた。国土交通省・経済産業省などの委員も歴任している。2008年4月、ホームインスペクション（住宅診断）の普及・公認資格制度をめざし、NPO法人日本ホームインスペクターズ協会を設立、初代理事長に就任。また自身の個人事務所（長嶋修事務所）でTV等メディア出演、講演、出版・執筆活動等でも活躍中。業界・政策提言や社会問題全般にも言及する。『マイホームはこうして選びなさい』（ダイヤモンド社）『「マイホームの常識」にだまされるな！ 知らないで損する新常識80』（朝日新聞出版）他、著書多数。

■□■□■ マスコミ関係者の皆様へ ■□■□■ ご招待のご案内▼

上記『賛否両論』勉強会に参加をご希望のマスコミ関係者の方はお手数ですが下記フォームにご記入の上、FAXにて(⇒03-6455-0022)ご返信くださいませ。日程があわない等、個別調整をご希望の方はその旨、ご連絡いただければ幸いです。

御名前 ※必	御社名 ※必
部署名	媒体名 ※必
電話番号 ※必	Fax 番号
メールアドレス	

複数名でお越しになる場合は恐れ入りますが、お席の都合上、人数をご記入くださいませ。 名

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社長嶋修事務所 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー 101 <http://nagashima.in/>
TEL 03-6455-0011 FAX 03-6455-0022 広報室：秋吉 美智子・安田 夏子 press@sakurajimusyo.com

